

日本史籍講読2-Ⅳ

科目ナンバリング JPH-404
選択必修 2単位

佐伯 智広

1. 授業の概要(ねらい)

日本中世史を学ぶ上で、和様漢文を読み解く力は、絶対に欠かせないものです。この授業では、院政期の貴族である中山忠親の日記『山槐記』を、分担して講読していきます。

2. 授業の到達目標

日本の中世記録史料を読解する能力を身に付ける。
日本の中世貴族社会のあり方を理解する。

3. 成績評価の方法および基準

授業中発表30%
期末試験70%

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

苺米一志 日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法 吉川弘文館

元木泰雄 日本の時代史7 院政の展開と内乱 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

予習として、人名・地名・歴史用語等の下調べと、読み下し文・解釈の作成が必要です。
復習として、読み下し文・解釈の見直しが必要です。

6. その他履修上の注意事項

春学期に「日本史籍講読2C-Ⅰ」を受講していることが望ましい。
報告担当があらかじめ決まっている回に無断欠席した場合は、単位を認めない。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の進行についてのガイダンス
- 【第2回】 山槐記の講読1
- 【第3回】 山槐記の講読2
- 【第4回】 山槐記の講読3
- 【第5回】 山槐記の講読4
- 【第6回】 山槐記の講読5
- 【第7回】 山槐記の講読6
- 【第8回】 山槐記の講読7
- 【第9回】 山槐記の講読8
- 【第10回】 山槐記の講読9
- 【第11回】 山槐記の講読10
- 【第12回】 山槐記の講読11
- 【第13回】 山槐記の講読12
- 【第14回】 山槐記の講読13
- 【第15回】 問題演習